

さしひいて考えて

年 組 名前

16

- 白い玉と黒い玉には、それぞれ1つあたりの得点が決まっています、
白い玉が2つと黒い玉が3つでは19点、
白い玉が2つと黒い玉が7つでは31点になります。
このとき、白い玉1つと黒い玉1つの得点をそれぞれ図を使って考えます。

① 白い玉(○)や黒い玉(●)、または数字を書き入れることで、下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ● ●	→	19点
○ ○ ● ● ● ● ● ● ●	→	31点
これらのちがいを考えることで、		
	→	()点 … (あ)

② 上の図の(あ)のことから、黒い玉1つの得点を求めましょう。

(式)

点

③ 白い玉1つの得点を求めるための下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ● ●	→	19点
● ● ●	→	()点
これらのちがいを考えることで、		
	→	()点 … (い)

④ 上の図の(い)のことから、白い玉1つの得点を求めましょう。

(式)

点

さしひいて考えて

年 組 名前

16

- 白い玉と黒い玉には、それぞれ1つあたりの得点が決まっています、
 白い玉が2つと黒い玉が3つでは19点、
 白い玉が2つと黒い玉が7つでは31点になります。
 このとき、白い玉1つと黒い玉1つの得点をそれぞれ図を使って考えます。

① 白い玉(○)や黒い玉(●)、または数字を書き入れることで、下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ● ●	→	19点
○ ○ ● ● ● ● ● ● ●	→	31点
これらのちがいを考えることで、		
● ● ● ●	→	(12) 点 … (あ)

② 上の図の(あ)のことから、黒い玉1つの得点を求めましょう。

(式) $12 \div 4 = 3$

3 点

③ 白い玉1つの得点を求めるための下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ● ●	→	19点
● ● ●	→	(9) 点
これらのちがいを考えることで、		
○ ○	→	(10) 点 … (い)

④ 上の図の(い)のことから、白い玉1つの得点を求めましょう。

(式) $10 \div 2 = 5$

5 点